



令和4年6月29日
 県立ミュージアム学芸課
 担当：田口、高木（敬）、鹿間
 TEL：087-822-0247

瀬戸内国際芸術祭 2022 作品

特別展「せとうちの大気 美術の視点」

せとうちを想う、現代作家たちの饗宴

この展覧会は、「瀬戸内国際芸術祭 2022」夏会期の作品です。香川県出身あるいは、これまで瀬戸内を活動の拠点とした経験のある美術家や写真家、映像作家、デザイナーなどによって、美術にまつわる様々な視点から瀬戸内をイメージしてもらおうとする試みです。

今回は、10人の作家たちが、それぞれの個性を遺憾なく発揮した特徴的な捉え方に着目することで、瀬戸内沿岸に居住する私たちの生活を客観的な立場で見直すきっかけにもなると考えています。

ふだん見過ごしがちな風景や事象も、実は長い歴史の積み重ねとともに人々の生活に反映された文化的資産として所在しています。この瀬戸内は常に生き物のように呼吸し続け、現代にまで繋がっていることを作家たちは見逃すことはないでしょう。

私たちの五感を刺激する作品群は、音や映像、光の織りなす情景を描き出し、瀬戸内の魅力を引き出します。



会 期： 8月5日(金) - 9月4日(日)
会 場：香川県立ミュージアム 2階特別展示室、常設展示室4・5
開館時間：9:00~17:00(入館は閉館の30分前まで)
夜間開館：毎週土曜日 20:00まで(入館は閉館の30分前まで)
休 館 日：毎週月曜日

※新型コロナウイルスの感染状況等により会期および内容が変更になる場合があります。
 ご来館の際は、最新情報を当館ホームページ等でご確認ください。

観 覧 料：一般 1,000 円 前売・団体・瀬戸内国際芸術祭パスポート 800 円
 ※高校生以下、65歳以上、障害者手帳等をお持ちの方は観覧料無料
前売券 7月4日(月) 発売!! 香川県立ミュージアム 1階総合案内にて

主 催：香川県立ミュージアム
共 催：香川県教育委員会
後 援：朝日新聞高松総局、産経新聞社、山陽新聞社、四国新聞社、毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局、
 OHK 岡山放送、RSK 山陽放送、KSB 瀬戸内海放送、TSC テレビせとうち、RNC 西日本放送、FM 香川、FM815
助 成：公益財団法人朝日新聞文化財団

出品作家

浅見貴子 (あざみ たかこ)



「Transform2108」

撮影：長塚秀人

日本画家

- 1964 埼玉県生まれ
- 1988 多摩美術大学美術学部絵画科卒業
- 2004 文化庁新進芸術家国内研修員
- 2007 文化庁新進芸術家海外研修員
- 2008 文化庁新進芸術家海外研修員として
International Studio & Curational Program
(ニューヨーク) 参加
- 2010 「ARKO(Artist in Residence Kurashiki, Ohara 2010)」で
滞在制作 (岡山)
- 2018 「第7回東山魁夷記念 日経日本画大賞展」で大賞受賞
- 2019 「植物の力 -The power of plants | 拡大する日本画
岩田壮平 浅見貴子」
香川県立東山魁夷せとうち美術館 (坂出)
- 2021 「ビジュツカンノススメ アートを楽しむ4つのヒント」
横須賀美術館 (神奈川)

北村大樹 (きたむら だいき)



音楽家

- 1981 香川県生まれ
- 2016 瀬戸内国際芸術祭
feel feel BONSAI | 平尾成志×瀬ト内工芸ズに音響で参加
- 2018 香川県立ミュージアム「CROSSPOINT」にて得丸成人の
“HANDS” に音響で参加
- 2019 瀬戸内国際芸術祭 星川雅未 “天盆 ten-bon/ 水盆 sui-bon”
に音響として参加
DOMMUNE SETOUCHI 宇川直宏 nami 出演

藏本秀彦 (くらもと ひでひこ)



「沖つ波来よる荒磯を敷栲の枕と枕きて寝せる君かも」

美術家

- 1965 香川県生まれ
- 1989 筑波大学大学院芸術研究科修士
学生の頃よりクラコフ国際版画トリエンナーレなど版画領域
で独自の手法が注目される
- 1998 「VOCA'98 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」
上野の森美術館 (東京)
- 2016 「藏本利彦+藏本秀彦 絵画展～ 思考の断面、記憶の輪
郭」 坂出市民美術館 (坂出)
- 2017 「CROSS POINT」 香川県立ミュージアム (高松)
- 2018 「高松市美術館コレクション+木村忠太とこぼれる光の中
で」 高松市美術館 (高松)
- 2021 「国讀めと屍」 瀬戸内海歴史民俗資料館 (高松)

得丸成人 (とくまる なるひと)



「無意識の投影」

南条嘉毅 (なんじょう よしたか)



「奥能登国際芸術祭 2020+」 撮影：木奥恵三

三村昌道 (みむら まさみち)



「Painting on a stone」 撮影：田中美句登

デザイナー、映像作家

- 1975 香川県生まれ
- 1998 フリーランスデザイナー
- 1999 映像表現 VISUAL JOCKY を始める。視覚デザインを軸に、雑誌・書籍のディレクションやステージの映像演出などを手掛ける。
- 2008 「MIDZONE COUNTDOWN PARTY」映像演出 (マレーシア)
- 2017 「CROSS POINT」香川県立ミュージアム (高松)

美術家

- 1977 香川県生まれ
- 2002 東京造形大学研究科修了
「東京都渋谷区神宮前 5-46-13」ギャラリーエス (東京)
- 2008 釜山国際環境芸術祭 2008(韓国)
- 2013 個展「-シンクロ- 風景の同時性」
高松市塩江美術館(高松)
- 2015 「AiR Nordland」ヌールランカルチャーセンター
(ノルウェー)
- 2017 個展「- overlay - 時層の風景-」
Galerie Grand E' terna a Paris (フランス)
- 2019 個展「Roots of travel」
アートフロントギャラリー (東京)
- 2021 奥能登国際芸術祭 2020+ (石川)
- 2022 瀬戸内国際芸術祭 (春会期、沙弥島)

美術家

- 1965 香川県生まれ
- 1991 多摩美術大学絵画科油画卒業
- 1996 コバヤシ画廊(東京)
- 2002 神山アーティスト・イン・レジデンス(徳島)
- 2007 「川島猛とアートフレンズ」高松市石の民俗資料館 (高松)
- 2010 個展 劇場「寄井座」(徳島)
- 2016 坂出アートプロジェクト「人工の地層と人の夢」
- 2019 アクリルガッシュビエンナーレ 2018 (東京)
- 2020 「三村昌道展 Step on the snow」
高松市塩江美術館 (高松)

水谷一（みずたに はじめ）



宮武かおる（みやたけ かおる）



宮脇慎太郎（みやわき しんたろう）



「YASHIMA」

矢野恵利子（やの えりこ）



「NEVER UNDER CONTROL」 撮影：大塚敬太

美術家

- 1976 三重県生まれ
- 2008 アーティストと批評家の協働企画『引込線（所沢ビエンナーレ）』参加（～2019）
- 2009 神山アーティスト・イン・レジデンス（徳島）
- 2010 「VOCA 新しい平面の作家たち」上野の森美術館（東京）
- 2013 瀬戸内国際芸術祭（栗島）
- 2017 高松アーティスト・イン・レジデンス
- 2019 文化庁新進芸術家海外研修制度によりベルリンに一年間滞在
- 2020 富士の山ビエンナーレ（静岡）
- 2021 「イタリアの三日月」Azumatei Project（神奈川）
「国讃めと屍」瀬戸内海歴史民俗資料館（高松）

デザイナー

- 香川県生まれ
- 高松工芸高校美術科卒業
- 日本大学芸術学部美術学科 VCD 専攻卒業
- 株式会社ポーラ化成工業入社（デザイン研究所）
- 1997 西浩毅とともに西デザインを設立
- JPC 日本印刷産業連合会長賞 受賞
- Pentawards Luxury 部門 Bronze 賞 受賞

グラフィックデザイン、パッケージデザイン、公共・企業のVI・ロゴデザイン、美術館・病院等のサインデザインを手掛ける。

写真家

- 1981 香川県生まれ
- 大阪芸術大学写真学科卒業後、日本出版、六本木スタジオなどを経て独立
- 2009 高松市に拠点を構え『せとうち暮らし』、『せとうちスタイル』、『IKUNAS』など雑誌で活動
- 2012 “Bookcafe solow” の運営を開始
- 2015 写真集『曙光 The Light of Iya Valley』出版
- 2019 『霧の子供たち』を出版
- 2020 香川県文化芸術新人賞受賞
- 2022 『UWAKAI』出版
- 瀬戸内国際芸術祭 2016、2019、2022 公式カメラマン

美術家

- 1987 香川県生まれ
- 2010 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科陶磁コース卒業
- 2011 個展「続きのまたつづき」GALLERY RUVENT(東京)
- 2012 個展「eigo-no-daimei」ギャラリー子の星(東京)
- 2013 瀬戸内国際芸術祭（男木島）
- 2017 アーティスト・イン・レジデンス 大洋荘(福岡)
- 2018 アイルランドへ渡航(～2019)
Professional Art Studio at Stradbally Art house/
個展「HOLIDAY MACHINE」The Guesthouse Project
- 2020 アーティストランススペース『Zunzun-plan』(高松) 共同設立、
展覧会等の企画を行う。(～2022)
- 2021 アーティスト・イン・レジデンス／個展「NEVER UNDER CONTROL」鴨江アートセンター（静岡）

関連イベント

《ラウンドトーク》 各13:30~15:00 2階西ロビー

今回参加する出品作家5名ずつ、2回に分けてトークセッションを行います。参加者と日程は以下のとおりです。

- 8月6日(土) 藏本秀彦、南条嘉毅、水谷一、宮脇慎太郎、矢野恵利子
- 8月20日(土) 浅見貴子、北村大樹、得丸成人、三村昌道、宮武かおる

★ラウンドトークとは？

5人の出品作家が互いに向き合うように円形に座り、一般参加者は、さらにその周囲を取り囲むように円形に座ります。

作家同士が相互に会話を交わすと同時に一般参加者もその輪の中に入って話題を共有し、自らの考えを喋ることができます。

★トークの内容は？

トークで《ぜひ聞いてみたい》話題を募集します。

今回の展覧会は“せとうち”をテーマに作家たちが制作しています。

せとうちについて何を表現しているのかや、今興味を持っていることなど、今回の出品作家へぜひ聞いてみたいさまざまな疑問、質問を受け付けますので、下記まで、ご応募ください。

SNSにハッシュタグ

「#ラウンドトーク」をつけて、話題にしてほしい内容を投稿してみよう！
トーク当日には、あなたの投稿が採用されるかも！

《ナイトトーク》 各18:30～ 40分程度

出品作家や担当学芸員(※)が展示室にて展示作品の解説トークを行います。

- 8月6日(土) 南条嘉毅、水谷一
- 8月13日(土) 藏本秀彦、田口慶太(※)
- 8月20日(土) 浅見貴子、宮武かおる
- 8月27日(土) 北村大樹、得丸成人、宮脇慎太郎
- 9月3日(土) 三村昌道、矢野恵利子

報道向け内覧会を開催します。

日時:8月4日(木)14:00～16:00

会場:香川県立ミュージアム2階 特別展示室、常設展示室4・5

参加者:報道関係者

※取材をご希望の場合は、当日会場にお越しください。

※新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、本展覧会では開会式等はありません。

お問い合わせ

香川県立ミュージアム 学芸課

〒760-0030 高松市玉藻町5番5号

Tel.087(822)0247 Fax.087(822)0049



E-mail: kmuseum@pref.kagawa.lg.jp

Web: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum/>

ツイッター・フェイスブック・YouTube でも情報発信中

ツイッター  @kagawamuseum

フェイスブック <https://www.facebook.com/香川県立ミュージアム-1041229016064742/>

